


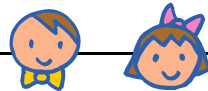



入院診療計画書 (急性胃腸炎クリニカルパス)

患者氏名
病名 急性胃腸炎

様

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

<<DYTODAY>>

経過・日時	1日目	2日目～退院日まで	退院日
治療／処置	点滴による水分補給を行います。 下記薬剤の投与を行います。 	症状の経過と尿量、食事摂取量に合わせて点滴を減量・終了します。	退院後は必要に応じて外来治療を続けます。 
薬剤	解熱剤（坐薬・内服）など 薬剤師は医師と情報共有して、薬物療法を安全に進めていきます。	症状・経過に合わせて、治療内容を変更します。	必要に応じて退院時に内服薬等を処方します。
検査	血液検査、尿検査、細菌検査、ウイルス検査など 必要に応じて行います。	必要に応じて検査を追加します。	
安静度	ベッド上の安静を原則とします。	感染予防のため、症状の回復後も病室内のみでの活動となります。	退院後に外出、登園・登校等について制限がある場合は主治医より説明を行います。
食事	栄養士と協働のもと年齢と症状に合わせた食事を用意します。 ※食物アレルギーのある方はスタッフまでお伝え下さい。 ※食事量を所定の用紙に記入して下さい。	症状の回復に合わせて食事内容を変更できます。	
清潔	定期的に清拭（体拭き）を行います。 症状に応じて沐浴、シャワーを行うことができます。 （感染予防のため病室内のシャワー使用となります。） オムツかぶれの予防を行います。 		
排泄	感染予防のため、病室内での排尿排便となります。 ※尿量など必要事項を所定の用紙に記入して下さい。		
看護	体温、血圧、酸素飽和度などの測定を行います。 熱がある患者様には保冷を行い、適宜症状緩和に努めます。 		
患者様とご家族への説明	入院の見通し、治療方針について説明します。 ※感染予防のため、ご家族の病室内でのガウン着用、手洗いなど予防策の協力をお願いします。		退院後の方針や生活などについて説明を行います。 

- 注1. 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わる可能性もあります。
注2. 入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります。